2026 年 11 月2日

S-RACMO 株式会社
タカラバイオ株式会社

GMP 細胞加工受託事業の承継に関する最終契約締結について

S-RACMO 株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長　土田　敦之、以下「S-RACMO」）とタカラバイオ株式会社（本社：滋賀県草津市、代表取締役社長　宮村　毅、以下「タカラバイオ」）は、2026 年7月 21 日付で、タカラバイオの GMP 細胞加工受託事業の承継（以下「本事業承継」）に関する基本合意書を締結し、その後協議を続けてまいりましたが、このたび、2026 年 11 月2日付で最終契約として「基本契約書」（以下「本契約書」）を締結しましたので、お知らせいたします。

本契約書に基づき、S-RACMO およびタカラバイオは、本事業承継に関連する人員、資産、受託案件などの承継を進めます。なお、本取引のクロージングは、2027 年1月1日を目標としています。今後、S-RACMO およびタカラバイオは、必要に応じ S-RACMO がタカラバイオの GMP 製造施設等の一部を賃借し、同施設において一部の GMP 細胞加工受託業務を当面の間継続することも含め、受託案件に支障を生じさせず円滑に事業を承継すべく協力して対応いたします。

本取引により、S-RACMO は、CDMO 事業の基盤となる製造技術・ノウハウ、専門人材の一層の高度化を図るとともに、CAR-T 細胞を含む免疫細胞療法なども含めたより幅広い国内外の顧客ニーズに応え、更なる事業拡大を図ります。タカラバイオは、CDMO 事業における注力領域を核酸/プラスミド、タンパク質/酵素、ウイルスベクターなどへ重点化し、事業ポートフォリオの最適化と運営効率の向上を図ります。
また、S-RACMO が製造する遺伝子導入細胞の原材料として、タカラバイオが遺伝子導入用ウイルスベクターを提供し、遺伝子・細胞医療分野での両者の強みを活かした連携を進め、両者共同で顧客価値の最大化を図ります。

S-RACMO 代表取締役社長の土田　敦之は、「このたび、タカラバイオ社が長年にわたり培ってこられた事業を承継することについて、大きな責任を感じるとともに、新たな可能性に期待しています。タカラバイオ社の免疫細胞療法(CAR-T、TCR-T)などのノウハウ、人材を大切に受け継ぎ、S-RACMO が有する iPS 細胞や商用製造の経験と融合することで、お客様にこれまで以上の価値を提供するとともに、革新的な治療を必要とする患者さんに一日でも早く届けることに貢献してまいります」と述べています。

タカラバイオ 代表取締役社長の宮村　毅は、「GMP 細胞加工受託事業の将来について慎重に検討を重ねた結果、今後もお客様に継続して価値をお届けしていくためには、上市品製造の実績を持っている S-RACMO 社のもとで事業を継続していただくことが最も望ましいとの結論に至りました。私たちが培ってきた技術やノウハウを S-RACMO 社に託し、新たな環境のもとで本事業がさらに成長していくことを心から願っています」と述べています。

以上

＜参考情報＞

S-RACMO 株式会社
ニュースリリース(2026 年7月 21 日)
タカラバイオ株式会社との GMP 細胞加工受託事業の承継に関する基本合意書締結について

タカラバイオ株式会社
ニュースリリース(2026 年 6 月 23 日付)
GMP 細胞加工受託事業の事業承継に関する協議状況について
ニュースリリース(2026 年7月 21 日付)
GMP 細胞加工受託事業の承継に関する基本合意書締結について

本件に関するお問い合わせ先:

S-RACMO 株式会社
経営管理部
ml-contact@s-racmo.co.jp

タカラバイオ株式会社
広報・サステナビリティ推進室
bio-ir@takara-bio.co.jp
Tel: 077-565-6970